

● 構成メンバー

低侵襲医療研究室は、当院の外科系各診療科(外科、泌尿器科、心臓血管外科、小児外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、脳神経外科、麻酔科、呼吸器外科、眼科、皮膚科、整形外科)で構成されている。

● 活動状況

1. 当研究室では内視鏡手術の専門医を多数配し、安全・安心な内視鏡手術の実践に努めている。
さらに、手術機材の工夫・手術材料の選択等によって患者さまへの負担の少ない医療提供を実現している。

当研究室は、近隣地域からの受診にとどまらず、岡山県内・外から多数の患者さんが受診し、地域医療のみならず、所属している学会を主導している診療科も複数科あり、活発な研究活動を行っている。

論文、学会報告等は各診療科ページをご参照ください。

2. 低侵襲手術例は具体的に

- ・泌尿器科 腹腔鏡手術 41 例、ロボット支援前立腺全摘術 3 例、
経尿道的尿路結石除去術 54 例、経尿道的膀胱・前立腺手術 125 例
- ・呼吸器外科 胸腔鏡視下手術 123 例 * 2024 年 2 月からロボット支援下手術
- ・消化器外科 腹腔鏡視下手術 338 例(うちロボット支援下手術 3 例)
- ・乳腺甲状腺外科 低侵襲手術 2 例
- ・眼科 極小切開硝子体手術 152 例、低侵襲緑内障手術 4 例、
涙道内視鏡を用いた涙管チューブ挿入術 4 例
- ・小児外科 低侵襲手術 120 例(鼠経ヘルニア 43 例、虫垂炎 31 例、
その他腹部 25 例、膀胱鏡関連 13 例、気管・肺 8 例)
- ・心臓血管外科 胸腔鏡を用いて、小開胸下に弁膜症、冠動脈手術 4 例
- ・産婦人科 低侵襲手術 20 例
- ・整形外科 内視鏡手術 93 例、顕微鏡手術 48 例 * 脊椎手術用ロボットが導入された

このように、当研究室の診療科は「外保連手術指数」による手術技術度の高い手術を多く行うことにより、当院が DPC II 群病院であることに大きく貢献している。